

山里 奈津実 個展

YAMASATO Natsumi solo exhibition



www.kunstarzt.com

軸 索

Axon

KUNST ARZT では、昨年に引き続き7度目となる山里奈津実の個展を開催します。

山里奈津実は、金を用いた表現の研究と実践をベースに、光や命を表現する日本画アーティストです。

本展は、光ることをメインテーマに、燕子花図屏風の箔あしや剣鋒をモチーフとした作品群で構成されます。

これまで個展毎に、光っている体の部位が移行しているイメージで展開しており、本展覧会タイトルは、脳の神経細胞のひとつです。

(KUNST ARZT 岡本光博)



経歴

1990年 茨城県生まれ

2018年 京都造形芸術大学大学院修了 博士(芸術)

2017年 公益財団法人佐藤国際文化育英財団 第27期奨学生

2015年 日本文化芸術財団 第20回奨学生

2014年 京都新聞 掲載

(10月5日「社殿絵図、京都造形芸大院生「緊張」の模写 離宮八幡宮」)

2013年「離宮八幡宮絵図」現状模写 奉納 (離宮八幡宮/京都)

燕子花図屏風 左隻第2扇

2023

絹本着色 純金箔、兎膠、アルギン酸

320×1420mm

個展

2023年「Bio+Photon」(KUNST ARZT / 京都)

2022年「軸と線」(KUNST ARZT / 京都)

2021年「8」(KUNST ARZT / 京都)

2020年「Cu29+Zn30」(KUNST ARZT / 京都)

2019年「ὕστερα ὕστερία」(KUNST ARZT)

2018年「false pregnancy」(KUNST ARZT)

グループ展

2021年「美術ヴァギナ」 KUNST ARZT

2018年 第27回奨学生美術展 (佐藤美術館/東京)

2018年 画心展 Selection Vol15 (佐藤美術館/東京)

2018年 博士課程学位申請作品展 (Galerie Aube / 京都)

2024年10月19日(土)から27日(日)

12:00から18:00 月曜日休み

会 場 : KUNST ARZT

605-0033 京都市東山区夷町155-7 2F

問い合わせ



KUNST ARZT 代表 岡本光博

090-9697-3786

kunstarzt@gmail.com

アーティスト・ステートメント

私は「自分が今住む世界に対する好奇心」を金という素材を介して表現している。

古来、聖なるものを描くときに用いられる金の目的は「光」だった。

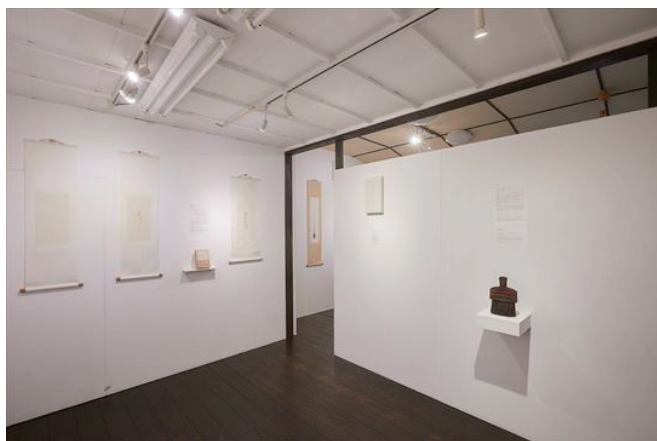
2016年、卵子は受精の瞬間にたった一度だけ光る（亜鉛のスパークが生じる）と科学誌Scientific Reportsにて発表された。

私たちは、姿形が形成される一番初めのその瞬間に光る。

人間は、科学が発達するもっと前から、生命誕生の瞬間には光が常に存在していたことを無意識に気付いていて、

輝く素材である金が絵画に長く用いられてきたことと、どこかでつながっているのではないだろうか、

と根拠のないことを考えている。



個展「Bio+Photon」2023 展示風景
撮影：ERINA WATANABE



個展「軸と線」2022 展示風景
撮影：OFFICE MURA PHOTO